

はじめに

東京都では、平成25年3月に、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を総合目標に掲げ、3領域14分野にわたり、具体的な目標を定めた「東京都健康推進プラン21(第二次)」(以下、「プラン」という。)を策定し、どこに住んでいても、生涯にわたって健やかで心豊かに暮らせる社会を目指して、生活習慣病の予防や生活習慣改善の取組を推進しています。

様々な調査や研究により、地域のつながりが豊かなほど、住民の健康状態が良いことが報告されており、プランでは、総合目標を達成するための分野のひとつに「社会環境整備」を設定し、「地域のつながりを醸成する」ことを分野別目標として位置付けています。

その目標の達成状況の確認や、区市町村をはじめとした地域における健康づくり施策に生かしていくため、このたび、平成25年度以来となる、都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動状況調査を実施しました。この報告書は、その調査結果を取りまとめたものです。

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、地域や人との関係性の希薄化が懸念される中、地域や人とのつながりの重要性が改めて注目されています。地域におけるつながりの醸成と、そのつながりを通じた健康づくりのため、地域の関係機関及び関係者の皆様に広く御活用いただければ幸いです。

最後に、本調査に御協力いただきました都民の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和3年8月

東京都福祉保健局保健政策部長
成田友代